

欧州発のOSS FIWARE のご紹介

～欧州の地域課題解決事例とともに

2023/3/9

iHub Baseは、[一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム](#)(以下、同法人)と、FIWAREの概要及び、FIWARE普及に向けたエコシステム・欧州事例などをお伝えするウェビナーを開催し、57名の方々にご参加いただきました。



b. 標準データモデル

共通インターフェース(NGSI)の中で、データモデルの基本構成を定義
推奨データモデルセットが公開されており、皆が統一されたモデルを使うことで、相互運用性を確保できる

データモデルとは、モノの属性や状態を表すデータのフォーマット。システム間でデータを交換する際、データモデルが異なることは連携が困難。

FIWARE データモデルの基本構成

Entity
• EntityId
• Entity Type

Attributes
• Name
• Type
• Value

Metadata
• Name
• Type
• Value

= コンテキスト

エンティティ(ユニークな識別子) モノの名前やIDなどの基本情報

属性

付加情報

データモデル活用の全体図

推奨データモデルセットをWeb公開

FIWARE DATA MODELS

14 © 2022 iHub Base. iHub Base use only



<ウェビナーの内容>

- FIWAREの概要
- FIWARE普及に向けたエコシステム
 - FIWARE Foundationの取組み
 - 欧州の事例 など
- QAセッション

●スピーカー



土屋 俊博 氏

(一社)スマートシティ社会実装コンソーシアム
コミュニティマネージャ



笹野 修平

iHub Base
ゼネラルコミュニティマネージャ

今後も、iHub Baseは、同法人と連携し、FIWAREの更なる活用、及びFIWAREと連携可能なサービス創出を目指し、取り組んでまいります。